

2020年度入学者の構成に関するアンケート調査の結果報告

広報・調査委員会
担当理事 大麻 正晴

公益社団法人全国柔道整復学校協会では、柔道整復師養成施設の入学者動向等を把握し、各養成施設における教育活動、学校運営等に資するべく、2010年度からアンケート調査を実施しています。翌2011年度からは、より実情に即した状況を把握するため学校協会以外の養成施設にも依頼し、今年度は会員校45校に加え11校のご協力をいただき、全国の柔道整復師養成施設の約60%において実施することができました。本調査が各校の養成施設運営の一助になればと存じます。なお、本調査はこれまで制度委員会において実施されてまいりましたが、委員会等組織の改編により、広報・調査委員会で担当することとなりました。今後も継続して実施する予定ですので、これまで同様ご協力のほどお願い申し上げます。

また本年は、年初より新型コロナウイルス感染症の発生、拡大による未曾有の事態となり、教育活動、学校運営等にも多大な影響が出ている中、ご協力を賜りましたみなさまに心よりお礼申し上げます。

○実施の目的

全国の柔道整復師養成施設の入学者構成について調査し、その動向を知り、養成施設の運営等の基礎資料とすること

○実施の概要

主 体：公益社団法人全国柔道整復学校協会
対 象：全国の柔道整復師養成施設 56校 2020年度入学者 2,792名
時 期：2020年5月18日～6月26日
方 法：各養成施設において、集合調査法により実施
回 答：2,706名（96.9%）

○調査の項目

「定員充足率」、「男女」、「入学試験区分」、「オープンキャンパス・学校説明会（以下OCと略）の参加」、「入学校のOC参加回数」、「入学校以外のOC参加回数」、「専門実践教育訓練給付金の申請」、「学歴」、「年齢」、「柔道整復師の資格を知った時期」、「柔道整復師の資格を何により知ったか」、「柔道整復師を志望した動機」、「入学時における卒後の進路予定」、「入学校への受験を決定した時期」、「入学校を選んだ理由」、「スポーツ経験」、「出身地」、「通学時間」、「勤務形態」、「医療資格」の20項目。地域の特性を表すために全国を4地域に分け、単年で図表化。

- ※2011年度
 - ・学校協会以外の柔道整復師養成施設の参加
- ※2015年度
 - ・課程区分の変更（昼間・夜間）→（午前・午後・夜間）
 - ・「専門実践教育訓練給付金」の項目追加
- ※2018年度
 - ・「入学校へのOC参加回数」、「入学校以外のOC参加回数」、「柔道整復師を志望した動機」、「入学時における卒後の進路予定」の4項目追加
 - ・項目の合一、項目区分の追加
- ※2019年度
 - ・「柔道整復師の資格を知った時期」、「柔道整復師の資格を何により知ったか」、「入学校への受験を決定した時期」、「入学校を選んだ理由」の4項目追加